

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●本体の吊込み後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あることを確認してください。
本体と枠の間に、すき間が生じたり、本体が枠から外れやすくなりケガや故障の原因になります。

■取付け上のお願

●本製品は、ガラス組込みのため、工事中は梱包状態のまま、室内の安全な場所に保管してください。
※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。

■部材の明細

●二枚建て用本体



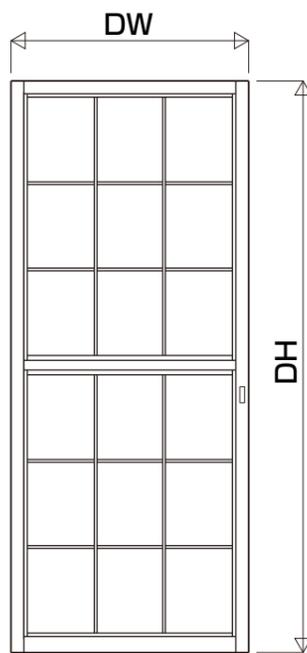
(1枚梱包)

●四枚建て用本体



(1枚梱包)

■製品寸法



〔在来用〕

(単位mm)

呼称	DW	DH
二枚建	1620	2008
四枚建	2520	2008

■本体の建付け調整 (上下方向の建付け調整)

1 上下方向の建付け調整

■戸首のかかり寸法の調整 (障子の出来高さ調整)

●本体の戸首の鴨居へのかかりが少ない場合は、調整が必要です。
調整量は+5mm、-0mmです。
(又、適正な戸首の鴨居へのかかりは5mmです。)

- ①縦框のパッキン上部をマイナスドライバーなどで一部外します。
- ②上棧組立てねじ(ワッシャー付き)をプラスドライバーでゆるめます。
- ③上棧補助材端部ピースを持上げて調整後、上棧組立てねじを締め付けます。
- ④パッキンを元通りはめ込みます。

2 建付け調整

●本体の下棧には、上下の建付け調整機能が付いています。
調整量は+3.5mm、-0mmです。

- ①縦框のパッキン下部をマイナスドライバーなどで一部外します。
- ②一番下側の長穴の奥にプラスドライバーを差込み、右に回すと本体が上がります。
- ③パッキンを元通りはめ込みます。

▲注意

●本体吊込み後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あることを確認してください。

